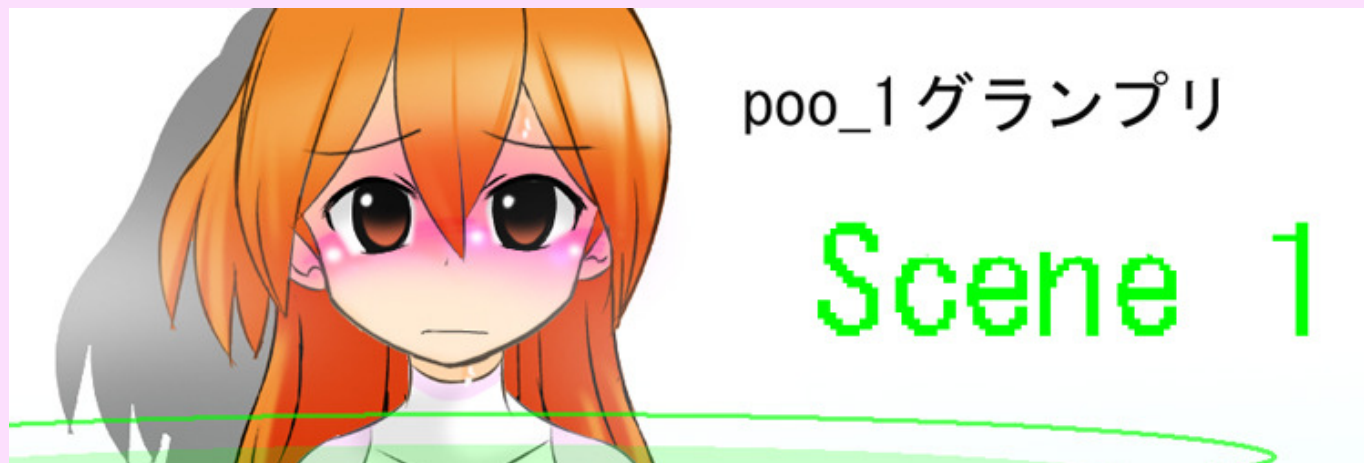


Poo-1GP カエデの受難 scene1「身体測定」



やばい

劣等感で押しつぶされそうだ。

一見わたしと同じ普通の女の子ばかりに見えるのだが、
時折見せる立ち居振る舞いや匂い、所持品が明らかに
”違う”。

去年親戚の子供とザリガニ釣りに行ったわたしとは住む世界が違う。

不安の中しょんぼりと帰り支度をしていると、教室のドアが小さく
ざわついた。

「カエデさんいらっしゃる？」

『はっ！』

全員の視線がわたしに集まる。

そうだった、先輩来るって言ってたっけ！
急いで立ち上がろうとしたわたしは机に躓いて
コメディ映画のように大きくずっこけた。

「良かったわ、” PO（ピーおー）” の参加者が入ってくれて。」

廊下を二人で歩く。さらさらと靡く黒髪に見とれて、言葉が入ってこない。
ピーおーがどうか言ってるみたいだけど・・・。

そういえば、面接のときにも先生が「ピーおーがどうのこうの」って
言ってた気がする。

「こっちよ。これからよろしくね。」

『え？あ！はい！！』

よろしく！？よろしくって言った！！どうやら憧れの先輩と
同じ” 何か” をするらしい！！やばい！鼻血が出そう・・・！

どうやら、わたしは面接時に特定の部活への入部を薦められた「らしい」。

でも、憧れの先輩と一緒になんて、むしろ拒否する理由もない！！

ただ、わたしに務まるのかしら。

「まずはこれに着替えて。」

小さくカーテンで囲まれただけの更衣室へ連れて行かれたわたし。
渡されたものはパツンパツンのウェア。よく自転車ランナーとかが
着る布地に似ている・・・けど。

『あ、あの・・・下は？』

「それで大丈夫よ。いらっしゃい。」

『え！？ちょっ！ああああっ！！』

カーテンから引っ張り出されたわたしは、胸をкаろうじて隠されただけで（とは言っても下乳が出てるけど）、その下は何もつけないすっぽんぽん状態。

わたしは顔から湯気をあげながら、股間を慌てて隠す。

「似合ってるわよ。」

『い、いや、似合ってるどころかまだパンツを……。』

何かの冗談かと照れ笑い気味に言うわたしを、先輩は表情一つ変えず穏やかに説明を続ける。

「POにはいないわ。最近だと選手によっては特殊な形式で装着している人も多いけどね。」

っていうかそもそもぴーおーってなんなの！？

部室の周囲を見渡し、情報を収集してみる。バイクレースらしいポスターがところどころに貼られているけど、恥ずかしくてそれどころではない！

憧れの先輩の前でお尻丸出しの格好晒してるんだから！

「記録しておくからそこに気を付けして立ってくれるかしら？」

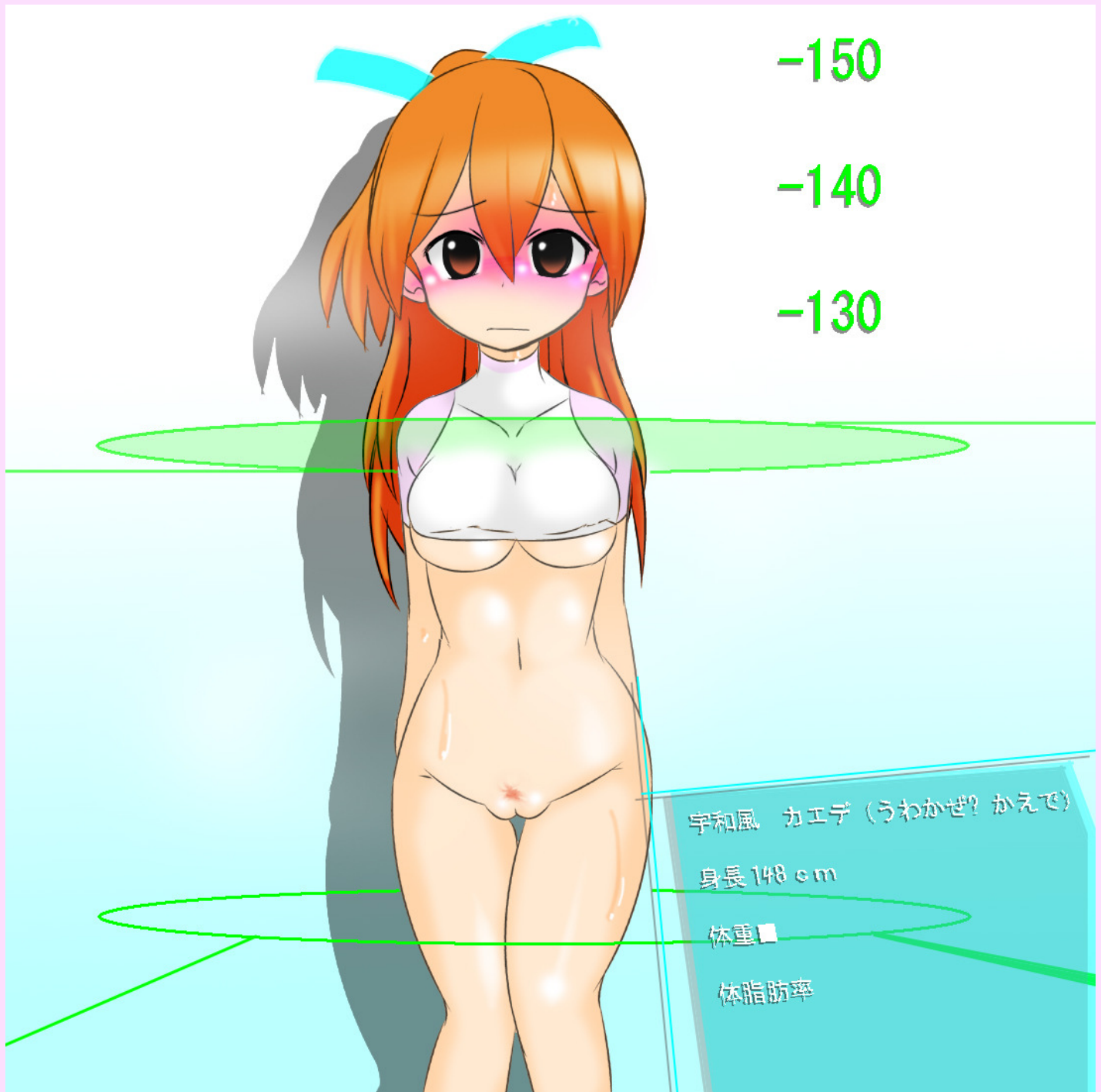
『き、きろく……。？』

教室の横にはホワイトバックの小さな撮影場所が用意されている。わたしは言われるがままに足を進め、太ももをもじもじさせながらカメラの前に位置づいた。

「手は退かしてくれる？」

『へ……。！？』

うそ！？わたしの大事な部分を先輩に……。！？恥ずかしさで涙目になるも、先輩の言葉には逆らえずおずおずと薄い茂みを晒す。



「なるほど。小柄だし理想的ね。」

ああ・・・憧れの先輩にわたしの大事な部分見られてる・・・！
恥ずかしさに息が荒くなってくる。

「ん～・・・ちょっと失礼」

『きゃあっ！』

横っ腹のお肉を軽くつままれる。反射的に体をのけぞらせるわたし。

「ごめんね。」

「もうちょっとお肉を締めたほうがいいかもね。」

いたづら心交じりの言葉に、さっき以上に顔が赤くなる。太っちゃかなわたし・・・？

「立体スキャナであなたの体を記録するわ。」

立体スキャナとは、旧来の所謂”カメラ”の立体版。被写体の光の反射でなく、被写体の光の”流れ”を記録することで、簡単に立体的な記録をすることが出来る、簡単に言えば「立体カメラ」。

・・・わたしも原理はよく分からないけど。

とにも、わたしの陰毛丸出し姿が記録されている。この記録って、他の人も見るのかな？
コワくて訊けなかった。

「あとは・・・このポール掴んで、お尻を突き出してくれる？」

『ぼ、ポール・・・？』

右手側にあるポールが目に入る。あれを掴んでお尻を突き出すって・・・お尻の穴丸見えになっちゃう！？



「ふむふむ、なるほど。綺麗なお尻ね。」

見られてる見られてる！わたしの肛門見られてる・・・！ティッシュかすとかついてないよね！？
こんな汚い部分を先輩に見せるなんて！！

そんなわたしの狼狽をつゆしらず、先輩はわたしのお尻のにおいが伝わるほどに顔を肛門に

近づけていた。

やめてくださいとも言えず、無言の抵抗で少しお尻を左右に振ることしか出来なかったけど、先輩から見たらわたしがお尻振って誘惑してるように見られたかも・・・。

無駄な抵抗ではあるけど、お尻に力を入れて肛門をヒクヒクとさせ、なんとか隠そうとするが・・・

ぶべっ！



『あっ・・・！』

変にお尻に力を入れたせいで、女の子とは思えない汚らしい音を先輩の顔にぶっかけてしまうわたし。

わたしは先輩のほうに顔を向けられず、涙が顔の熱で沸騰するほどに恥らった。

『ご、ごめんなさい・・・！』

「くすっ。気にしないで良いわよ。」

この場で泣き出したいほどに恥ずかしくてどうしようもない状況。よりもよって「ぶべっ」って！「ぶべっ！」ってえ！？

でも、憧れの先輩のキラキラした瞳には抵抗できず。皺の数まで記録されたんじゃないかと思うほど入念にお尻の確認は続けられた。

ガララさん (<https://fantia.jp/fanclubs/3099>) との共同コラボ、
「poo-1 グランプリシリーズは」 Fantia にて連載中！
詳細はかめべやファンクラブで！ (<https://fantia.jp/kamebeya>)

| | |
|-------------------|---|
| かめべやメインサイト | = http://kamebeya.o0o0.jp/index.html |
| かめぶろ (ブログ) | = http://blog.livedoor.jp/kamebeya-blog/ |
| ピクシブ (イラスト SNS) | = https://pixiv.me/kamebeya |
| かめの部屋 (公式ファンサイト) | = https://fantia.jp/kamebeya |
| ふたにゆう (フタナリサイト) | = http://futanari.crap.jp/index.html |
| ツイッター | = https://twitter.com/kamebeya |
| ゲームに関するお話はこちらどうぞ！ | = http://6303.teacup.com/sumomomomomo/bbs |

本作の著作権はかめべや運営者の“かめ”（上記リンク先コンテンツの制作、運営者）にあり、著作権は全て本文にある

者（かめ）に帰属します。

©2018 kamebeya_kame (<http://kamebeya.o0o0.jp/>)